

古代東ユーラシア研究センターシンポジウム

「ソグド人」の活躍と馬文化の広がりを討論



▲ 討論で意見を交わす講演者3氏と司会の高久教授(右)

石見氏は、中国各地で発見された6〜8世紀のソグド人(現在のウズベキスタンを中心とする中央アジア出身のペルシヤ人)の墓誌を解説。ソグド人は唐の成立以前から諸国に集団で移住し、さまざまな政権に軍人として仕えていたとして、「唐の建国はユーラシアの民族移動の混乱やうねりを経て、ようやく果だとしていた」と語り、宮城県栗原市教育委員会について、活発な意見が交わされた。

飯尾代表は「東ユーラシアに存在したさまざまな『中心』と『周縁』の関係から、どんな歴史がつけられたのか考えていきたい」と趣旨を説明。続いて石見清裕・早稲田大学教授が「ユーラシアの民族移動と唐の成立―近年のソグド関係新史料を踏まえて」と題して講演した。



▲ 多くの来場者で盛況だった

堀氏は、日本列島への馬の導入と飼育・生産について論じ、馬の骨や馬具が出土した日本国内の遺跡を東日本を中心に紹介。渡来文化の痕跡を説明し「注目すべきは、7世紀前半に青森県南部にまで馬の生産が広がっていたことと述べた。

古代東ユーラシアの馬文化をテーマに講演した張氏は韓国、中国、モンゴルの動物副葬と銀製の装飾馬具を取り上げた。三国時代(4〜6世紀)の韓国、遊牧騎馬民族の北匈奴が活動していたモンゴル、南匈奴が活動していた中国内モン地方の出土品を比較し、型式や様式の違いを述べた。

高久健二文学部教授の司会で行われた討論では、「馬の飼育目的は『どんな馬が飼育されていたのか』などの質問に答えたほか、ユーラシア大陸の文化の伝播について、活発な意見が交わされた。

▶ 講演する大使と広瀬教授

▶ 会場からの質問も活発だった

学生と活発なやりとり

パキスタン大使が講演

法学部

法学部の学術講演会が7月2日(花)においては「イスラム圏に初に神田キャンパスで開かれ、ファの女性首相を輩出したほか、上卡ルーク・アーミル駐日パキスタン両院の女性議員の比率も南アジア・イスラム共和国大使が約1000一だ」と民主的で進歩的な国であるの学生や院生を前に、同国の現ると説明した。

「パキスタンには女性蔑視の思想がある」と聞いたが、政府の考えは2年ぶり2回目。企画した広瀬は「この質問に対し『一部にそう崇子教授(国際紛争論)が』大使した偏見が残っているのは事実だは本学のことをよくご存じ。前回が、政府も社会も決して受け入れ同様に、たくさん質問を」と学生に「はい、パキスタン建国の父呼びかけると、アーミル大使は笑顔でマイクに向かった。

「パキスタンには女性蔑視の思想がある」と聞いたが、政府の考えは2年ぶり2回目。企画した広瀬は「この質問に対し『一部にそう崇子教授(国際紛争論)が』大使した偏見が残っているのは事実だは本学のことをよくご存じ。前回が、政府も社会も決して受け入れ同様に、たくさん質問を」と学生に「はい、パキスタン建国の父呼びかけると、アーミル大使は笑顔でマイクに向かった。

「パキスタンには女性蔑視の思想がある」と聞いたが、政府の考えは2年ぶり2回目。企画した広瀬は「この質問に対し『一部にそう崇子教授(国際紛争論)が』大使した偏見が残っているのは事実だは本学のことをよくご存じ。前回が、政府も社会も決して受け入れ同様に、たくさん質問を」と学生に「はい、パキスタン建国の父呼びかけると、アーミル大使は笑顔でマイクに向かった。

校友の戦争体験を今に

11月・生田 記念展



▲ 1941年12月の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

今年11月12日の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

今年11月12日の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

今年11月12日の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

今年11月12日の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

今年11月12日の卒業アルバムより「べを銃にかえて」。富士裾野演習場での軍事教練と推定される

公開講座情報

エクステンションセンター
公開講座「歴史を紐とく」

「新出資料が示す新たな古代史像―揺らぐ常識」をテーマに、群馬県金井東裏遺跡の火山灰に埋もれた古墳時代人や木簡・竹簡・墨書土器に焦点をあて、古代の日本と中国の歴史を再考する。受講無料。

▽日時 10月3日(土)、10日(土)、17日(土)の3日間、10時30分〜14時30分▽場所 生田キャンパス10号館10301教室※17日は1号館114教室▽講師 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館)、群馬県立歴史博物館アドバイザー、群馬県立歴史博物館調査事業(理事) 土生田純之文部教授/荒木敏夫文学部教授/矢野建一学長・文学部教授/多田麻希子(大学院文学研究科博士後期課程リサーチアシスタント) /飯尾秀幸文学

10日(土)、17日(土)の3日間、10時30分〜14時30分▽場所 生田キャンパス10号館10301教室※17日は1号館114教室▽講師 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館)、群馬県立歴史博物館アドバイザー、群馬県立歴史博物館調査事業(理事) 土生田純之文部教授/荒木敏夫文学部教授/矢野建一学長・文学部教授/多田麻希子(大学院文学研究科博士後期課程リサーチアシスタント) /飯尾秀幸文学

10日(土)、17日(土)の3日間、10時30分〜14時30分▽場所 生田キャンパス10号館10301教室※17日は1号館114教室▽講師 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館)、群馬県立歴史博物館アドバイザー、群馬県立歴史博物館調査事業(理事) 土生田純之文部教授/荒木敏夫文学部教授/矢野建一学長・文学部教授/多田麻希子(大学院文学研究科博士後期課程リサーチアシスタント) /飯尾秀幸文学